

大伴家持・山上憶良ゆかりの地で短歌を詠もう！

布一枚空に向かって広げると
オレンジ色の世界にかわる

桜色のあたたかな風が吹く道で
ぼくは出会ったきみと出会った

風がもう冷たくなつた
大きさに気づいてほしい赤いわたしに

Illustration: 武田愛子

第4回

万葉の郷とつとりけん

全国高校生短歌大会

どなたでも
観戦OK!
無料

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
開催方法の変更等を行う場合があります。
※ご来場の際は、感染対策にご協力をお願いします。

日時 令和4年 11月13日(日) 午前10時から正午まで

会場 県民ふれあい会館(鳥取県立生涯学習センター)ホール 鳥取県鳥取市扇町21番地

主催 鳥取県

※掲載した短歌は、第3回大会優勝チーム「FIVE」(鳥取県立鳥取東高等学校)が決勝で披露した作品です。
【題・作者】(上から)「布」・佐藤 美桜希、「会」・影井 仁、「大」・神崎 萌衣



山上憶良と大伴家持、二人の万葉歌人が国司として赴任した万葉の郷とっとりけんに、全国から短歌に青春をかける高校生が集い、熱い戦いを繰り広げます。

今、若い人を中心に、SNSなどでブームとなっている「短歌」。審査員には、現代短歌界を代表する歌人をお迎えし、短歌の魅力や鑑賞のポイントを分かりやすくお伝えします。

高校生の思いを込めた作品を通じて、短歌の世界を楽しみましょう！

本選大会出場チーム：

- ・豊立 東京都立豊多摩高等学校(東京都)・立教池袋高等学校(東京都)
- ・アップルシナモン 神奈川県立光陵高等学校(神奈川県)
- ・らいちばんなこったマーボー 同上
- ・高田PLANTS II 高田高等学校(三重県)
- ・銀木犀 鳥取県立鳥取東高等学校(鳥取県)
- ・金木犀 同上

対戦方法：6チームにより準決勝3試合及び決勝の合計4試合を行います。

- 作品発表** 各チームが万葉衣装に身を包み、自由なパフォーマンスで作品を発表します。
- 質疑応答** 審査員が作品について質問し、作者が答えます。
- 判定** 審査員が勝者を判定し、講評をお話します。



来場者の感想

- ▶ パフォーマンスによる発表が面白かった。
- ▶ 講評の的確さもすごかった。さすがでした！
- ▶ 短歌の面白さを知ることができました。
- ▶ 高校生らしいフレッシュな感覚がよかったですと思います。
- ▶ 審査員の質問や講評が分かりやすく、短歌の新たな見方を発見できました。

審査員：



大辻隆弘氏
歌人
「未来」編集発行人・選者
現代歌人協会会員
現代歌人集会理事



穂村 弘氏
歌人
歌誌「かばん」所属
日経新聞歌壇選者



江戸 雪氏
歌人
「西瓜」同人
中之島歌会
2022年度「NHK短歌」選者

表彰：優勝、準優勝、第3位、パフォーマンス特別賞(2チーム)
審査員特別賞(本選大会審査員3名に加え、予選審査員大森静佳氏、小島なお氏が一首ずつ選定)

お問合せ先：鳥取県地域づくり推進部文化政策課
TEL. 0857-26-7134 FAX. 0857-26-8108
E-mail. bunsei@pref.tottori.lg.jp

万葉の郷とっとりけん
全国高校生短歌大会 [ウェブサイト](#)

前回大会の
動画や審査員
の講評も掲載！



主催：鳥取県

第20回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2022参加事業 とっとり県民カレッジ連携講座

後援：鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会 朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社 新日本海新聞社 時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 TSKさんいん中央テレビ テレビ朝日鳥取支局 日本海テレビ BSS山陰放送 いなばぴょんぴょんネット 中海テレビ放送 日本海ケーブルネットワーク 鳥取中央有線放送株式会社 (順不同)

